

令和5年度 一般社団法人さいたまスポーツコミッション事業報告書
(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

1 設立目的及び概況

(1) 設立目的

さいたま市及び周辺地域にあるスポーツ資源や特徴ある観光資源を最大限活用し、各種競技大会等スポーツ関連イベントの積極的な誘致等の事業を通じて、地域のスポーツ機会を創出することにより、地域スポーツの振興と地域経済の活性化を図ることを目的とする。

(2) 概況

① 設立年月日 平成30年12月10日

② 基金 1億1,450万円

③ 実施事業

ア スポーツイベント等の誘致に関する事業

イ スポーツイベント等の運営支援に関する事業

ウ スポーツイベント等の実施に関する事業

エ スポーツ施設等の管理運営に関する事業

オ スポーツビジネスの創出に関する事業

カ 前各号の事業のほか、当法人の目的を達成するために必要な事業

2 役員等の状況

(1) 役員等の人数 (令和6年3月31日現在)

会長 1人

常務理事 1人

理事 4人

監事 1人

(2) 令和5年3月31日現在の理事・監事

役職	氏名	就任年月日
会長 (代表理事)	遠藤 秀一	令和4年6月24日
常務理事(代表理事)	本田 秋満	令和4年6月24日
理事	北 清治	令和4年6月24日
理事	平岩 光現	令和4年6月24日
理事	佐野 秀彦	令和4年6月24日
理事	田口 誠	令和5年6月20日
監事	河合 あゆみ	令和4年6月24日

3 理事会及び総会の開催

(1) 理事会

開催日時	議決事項等
令和5年5月23日 (第1回理事会)	報告事項 職務執行状況の報告について 議案第1号 令和3年度事業報告について 議案第2号 令和3年度決算報告について 議案第3号 公益財団法人JKA補助事業の実施について 議案第4号 定時社員総会の開催及び日程について 議案第5号 役員候補者の推薦について
令和5年7月14日 (理事会決議事項の提案)	議案第6号 契約の締結について
令和6年1月23日 (第2回理事会)	議案第7号 主たる事務所の変更について
令和6年3月26日 (第3回理事会)	報告事項 職務執行状況の報告について 議案第8号 令和6年度事業計画について 議案第9号 令和6年度収支予算について 議案第10号 中期事業計画について 議案第11号 役員賠償責任保険の加入について 議案第12号 契約の締結について 議案第13号 契約の締結について

(2) 社員総会

開催日時	議決事項等
令和5年6月20日 (定時社員総会)	報告事項 令和4年度事業報告について 議案第1号 令和4年度決算報告について 議案第2号 理事の選任について

4 職員の状況

令和6年3月31日現在の職員

- ① プロパー職員 6人
- ② 契約職員 3人
- ③ 市派遣職員 7人
- ④ さいたま観光国際協会派遣職員 2人
- ⑤ 嘱託職員 1人
- ⑥ 臨時職員 2人

5 事業の実施状況等

1 スポーツイベント誘致・支援事業

(1) スポーツイベント誘致活動

各種スポーツ競技団体等に対して誘致を行った。

<令和6年度開催予定大会数>35大会 ※令和6年3月31日現在

(2) スポーツイベント支援活動

スポーツイベント開催助成金制度による財政支援、広報・PR、各種資料・情報提供、行政機関への調整等、主催者の要望に応じた各種運営支援を実施した。

<令和5年度支援大会数>48大会

(3) スポーツ合宿誘致活動

自主管理施設「Sフィールド」を活用したスポーツ合宿の誘致を行った。

<令和5年度合宿開催数> 3団体：計11日間

(4) プロモーション活動

スポーツイベントの誘致、スポーツツーリズムの促進並びに関係団体との交流拡大等を図るため、プロモーション活動を展開した。

- ・「Japan Sports Week 2023 スポーツツーリズム EXPO」
期 間：令和5年6月28日(水)～30日(金)
会 場：東京ビッグサイト 東展示棟
主 催：Japan Sports Week 事務局
内 容：ポスター掲示及びスポーツイベント開催支援の案内、スポーツ施設利用案内パンフレット配布
- ・「さいたま市花火大会」
期 間：令和5年8月11日(金)
会 場：東浦和大間木公園
主 催：さいたま市花火大会実行委員会
内 容：パンフレットに広告掲載及び花火打ち上げ前に事業紹介原稿読み上げ
- ・「SPORTEC 2023 スポーツイベント&ツーリズム支援 EXPO」
期 間：令和5年8月2日(水)～4日(金)
会 場：東京ビッグサイト東展示棟
主 催：スポーツイベント&ツーリズム支援 EXPO 事務局
内 容：スポーツイベント開催支援の案内、スポーツ施設利用案内パンフレット配布
- ・「さいたま市政令指定都市20周年記念花火大会」
期 間：令和5年10月14日(土)
会 場：荒川総合運動公園及び大宮けんぼグラウンド
主 催：さいたま市政令指定都市20周年記念花火大会実行委員会
内 容：パンフレット広告に社名掲載
- ・「彩の国ビジネスアリーナ」
期 間：令和6年1月24日(水)～25日(木)
会 場：さいたまスーパーアリーナ
主 催：埼玉県
内 容：地域版 SOIP 事業の紹介・けん玉ブース・部活動地域移行の相談等

(5) 経済波及効果調査活動

スポーツイベント開催助成金を支出したイベントを中心に消費額アンケート調査による個別基礎調査を実施するとともに、スポーツイベントにおける経済効果額を推計した。

＜令和4年度経済効果推計額（令和4年4月～令和5年3月）＞ 約42.93億円

(6) 情報収集活動

①一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構（JSTA）との連携

スポーツツーリズムを推進する役割を担った全国的なネットワークを構築する同機構と連携を図りながら、各種スポーツイベント情報を収集した。

②プライドリームス埼玉運営（PDS）との連携

埼玉県内トップスポーツチームとの交流及び連携を図るため、同団体の会計業務、情報発信を行った。

2 スポーツイベント開催助成事業

スポーツイベントの誘致及び開催の推進を図るため、スポーツイベント開催助成金交付制度を活用し、22件（総額13,347,000円）を助成した。

3 ウォーキングイベント開催事業

第12回さいたまーチ～見沼ツデーウォーク～

期間：令和6年3月30日（土）・31日（日）

会場：さいたま新都心及び見沼田んぼ周辺

コース：見沼田んぼ南ルート20km・10km・5km/見沼田んぼ北ルート30km・20km・10km

主催：一般社団法人さいたまスポーツコミッション、一般社団法人日本ウォーキング協会、NPO法人埼玉県ウォーキング協会

共催：さいたま市、さいたま市教育委員会

参加者数：1日目3,001人 / 2日目2,134人（参加者、大会運営役員等含む）

4 スポーツシユール事業

(1) スポーツ施設運営事業

・大宮けんぽグラウンドSフィールド（野球場8面・テニスコート10面）の管理運営及びイベント利用のセールス活動を行った。

貸出実績：野球場2,167件（86,680人）/テニスコート4,101件（41,010人）

合計6,268件（127,690人）

・さいたま市の指定管理業務を共同事業体で受託し、その構成員として、広報や自主事業の実施など指定管理施設の運営の一翼を担った。

○さいたま市与野体育館 令和5年4月1日～令和9年3月31日（4年間）

月1回スポーツ整体等を実施するボディケアルームのほか、指導者向けしつもんメンタル講座、与野体育館卓球交流大会の開催、スポーツDAY等の教室やイベントを実施した。

事業実績：スポーツ振興5事業・16日程の企画・制作・運営

（内1日程は熱中症アラート発出のため中止）を実施

○さいたま市大宮武道館 令和5年4月1日～令和10年3月31日（5年間）

リニューアルオープンイベントのほか、スポーツフェアを実施し、フードドライブやリユース品

の回収を合わせて開催するなど地域の交流拠点となる事業を創出した。

事業実績：5月3日(水・祝) リニューアルオープンイベント企画・制作・運営

10月21日(土) 大宮武道館スポフェスの企画補助・運営協力

(2) バasketボール活性化受託事業

さいたま市から委託を受け、東京2020大会のレガシーを創出するとともに、Basketボール環境の整備と競技力の向上を図る「バスケファンプロジェクト」を行った。

実績：練習会6回 参加人数164人、フリースロー大会1回 参加人数212人

(3) 女子サッカー等活性化受託事業

さいたま市から委託を受け、女子中学生年代等のサッカーの活動場所等を確保するとともに、競技技術の向上、栄養管理等を図る「スマイルプロジェクト」を行った。さらに新しい取組として、市内高校女子サッカー部活動体験会(計3回)、バスを利用した県外遠征を行った。

実績：練習会10回、大会参加1回、交流試合2回、参加人数延べ312人

(4) テニス活性化事業

Sフィールドテニスコートを活用した自主事業として定期的な主催大会を開催し、収益化を図る「Sフィールドカップ」を行った。

実績：大会28回、参加人数延べ2,937人

(5) アーバンスポーツ活性化事業

市民スポーツ実施率の向上及び地域住民の交流の創出に向けて、子育て世代の親子を中心にアーバンスポーツの体験機会の創出及びルール・マナーの普及啓発を推進するため、BMX、スケートボード、インラインスケート、ダンス等体験イベントや、スクールキャラバン活動、ルール・マナーの普及啓発業務を実施した。

実績：体験イベント6回 参加人数延べ890人、スクールキャラバン4回 313人

(6) スポーツイベント受託事業

①地域版SOIP事業

スポーツとあらゆる産業の共創で、ビジネス創出を目指すアクセラレーションプログラム「SPORTS OPEN INNOVATION BUSINESS BUILD」を実施。三菱重工浦和レッズレディース、大宮アルディージャVENTUS、さいたまマラソン、さいたまブロンコスとの共創プロジェクト支援を実施した。

②Sport in Life推進事業

スポーツ庁から委託を受け、まちの銭湯をランニングステーション化し、ランニング・ウォーキングイベントの企画・実施とイベント参加者のコミュニティを立ち上げ、スポーツ実施を継続化させる実証実験を行った。

③スポーツビジネス研修ツーリズム in 沖縄市

沖縄市観光物産振興協会(沖縄市スポーツコミッション)と連携し、沖縄市の地域資源を活用した新たな沖縄観光創出モニターツアーを2回実施した。

5 **さいたまクリテリウム開催事業**

2023 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムの開催

令和5年11月5日に、J:COM presents 2023 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムとして、さいたま新都心駅周辺を会場に、メインのクリテリウムレースをはじめ、タイムトライアルレース、一般参加体験イベントを開催した。

また、昨年度に引き続き大会前のPRを目的とした「さいたまクリテリウム WEEKS」を開催し、子供向け

のランバイクレース大会、市内高校の生徒が作成した「黒板アート」の展示、市内小学校児童の栽培したひまわりを展示する「ひまわり大作戦」実施、市内外の飲食店に協力をいただき「クリテ eats」を実施した。併せて、観光庁が公募した「観光再始動事業」の採択を受け、ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムの観覧席やコースの体験走行などパッケージ化し、プレミアム観戦ツアーを台湾向けに販売した他、さいたま市大宮盆栽美術館を初めてライトアップし、夜間に特別公開も行った

日 程：令和5年11月5日（日）

会 場：さいたま新都心駅周辺

主 催：一般社団法人さいたまスポーツコミッション

共 催：埼玉県、さいたま市、A.S.O.

特別協力：さいたまクリテリウム推進委員会

競技主管：公益財団法人日本自転車競技連盟

後援：経済産業省、観光庁、スポーツ庁、自転車活用推進本部

一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構

プレゼンティングスポンサー：JCOM株式会社

オフィシャルメディアパートナー：朝日新聞社、読売新聞東京本社

放 送：J:テレ/ど・ろーかる 11月5日(日) 14:30~17:30

J SPORTS 11月5日(日) 14:30~17:30

YouTube ライブ配信 11月5日(日) 12:25~17:30

テレビ埼玉：11月3日(金・祝) 20:00~20:30

NACK5：10月21日(土)~11月4日(土)

内 容：(1) クリテリウムレース (海外招聘選手、国内選手によるレース)

(2) タイムトライアルレース

(3) 自転車競技の普及を目的とした競技イベント

(4) コース及びイベント会場での一般参加体験イベント

(5) スポンサー企業・自転車関連企業のPRブース

(6) 賑わい創出イベント

(7) パブリックビューイング

(8) 海外招聘選手との交流

来場者数：さいたま新都心駅周辺 約11万2千人 (11/5)

さいたままるしえ 約7万9千人 (11/4 約2万4千人 11/5 約5万5千人)

サイクルフェスタ 約2万9千人 (11/4 約7千人 11/5 約2万2千人)

協賛企業 65社

オフィシャルサポーター ・法人：84口

・チーム帯同プラン：3口

・選手ふれあいプラン：67口

・レース満喫プラン：48口

・ライダーズプラン：20口

・アリーナスタンド観戦プラン：1,379口

・コース沿道観戦プラン：1,045口

経済波及効果：約35億9,400万円（市内：約10億1,100万円 県内：約10億2,700万円）

広告換算値：約 11 億 9,100 万円（国内 約 2 億 8,400 万円 海外 約 9 億 600 万円
（海外約 5,646,000 ユーロ ※1 ユーロ=160.48）算）

6 自転車文化醸成事業

・自転車乗り方教室

自転車を補助輪なしで乗ることにチャレンジする子どもを対象にした自転車乗り方教室及びランバイク体験を市内 9 区（1 区は雨天中止）で開催し、306 人の参加をいただいた。また、ランバイク体験も 71 人の方に参加いただいた。昨年度から、市内プロロードレースチームであるさいたまディレーブに委託し、地域密着感をより推進した。

申込者 1,656 人

参加者 306 人

ランバイク体験参加者 71 人

・ランバイクレース大会開催

「ランバイクの楽しさをみんなに」をコンセプトに、自転車に乗る前の練習として、またスポーツに取り組むための体幹を鍛え各種スポーツ競技に入りやすくしていく練習に最適なランバイクに触れる機会を創出することから、ランバイクの大会を主催した。

名称 2023 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム ランバイクレース

主催 一般社団法人さいたまスポーツコミッション

日程 令和 5 年 10 月 22 日（日）

会場 イオンモール浦和美園駐車場 特設コース

実施内容 入園前の子どもから小学 2 年生を対象としたランバイクレースの実施

※競技は親子レース、チームレース、フレンズレース、個人レースの 4 種類

参加数 親子レース : 21 組 42 名

チームレース : 10 組 50 名

フレンズレース : 10 組 20 名

個人レース : 96 名

合計参加者数：延べ 208 名

7 ランニングイベント開催事業

さいたまマラソンの開催

令和 6 年 2 月 12 日に、国内最大級の多目的アリーナ「さいたまスーパーアリーナ」を発着点とし、マラソン初級者も上級者も、子どもも大人も、家族と一緒に、仲間と一緒に、誰もがスポーツを楽しみ、誰もが参加できる、初の市民マラソン大会として、フルマラソンを開催した。特に、ゴールをさいたまスーパーアリーナ内とするなど、特別感を演出した。

同日開催イベントとして、さいたまマラソンフェスティバルをコミュニティアリーナ内で開催。アーバンスポーツや、協賛企業による野球、サッカー、ラグビーなどの体験ブースも実施した。

期日 令和 6 年 2 月 12 日（月・休）

会場 さいたまスーパーアリーナ（メイン会場）

駒場運動公園（8 km の部フィニッシュ会場）

内容 フルマラソン、チームラン、親子ラン、車いすラン 等

主催 さいたま市、一般社団法人さいたまスポーツコミッション、一般財団法人埼玉陸上競技協会

共 催 さいたま市教育委員会、公益財団法人さいたま市スポーツ協会、
さいたま市スポーツ推進委員連絡協議会、さいたま市レクリエーション協会
後 援 埼玉県、埼玉県教育委員会、さいたま市自治会連合会、さいたま商工会議所、越谷市、
越谷市教育委員会、越谷市体育協会、埼玉高速鉄道株式会社、埼玉新都市交通株式会社、
東武鉄道株式会社、東日本旅客鉄道株式会社大宮支社

主 管 さいたま市陸上競技協会

※一部の種目を「さいたまマラソン in 埼玉スタ」と称し、関連イベントとして開催

開催日・会場 令和5年11月19日（日） / 埼玉スタジアム2002

協賛企業 27社

申込者／参加者 マラソンの部 15,161人／13,189人
8kmの部 1,597人／1,337人
車いすの部 17人／15人
エンジョイランの部（3km） 454人／370人
エンジョイランの部（1.2km） 265人／219人
親子ランの部 1,634人／1,472人
ペアランの部 1,210人／1,087人
4時間チームランの部 957人／941人

コース沿道観客者数 約93,000人

さいたまスーパーアリーナ来場者数 約31,600人

駒場運動公園（8kmの部フィニッシュ会場）来場者数 2,000人

8 事業報告の附属明細書

令和5年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告を補足する重要な事項」が存在しないので、附属明細書は作成しない。